

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当り1.88人と、先週と比べ増加しています。

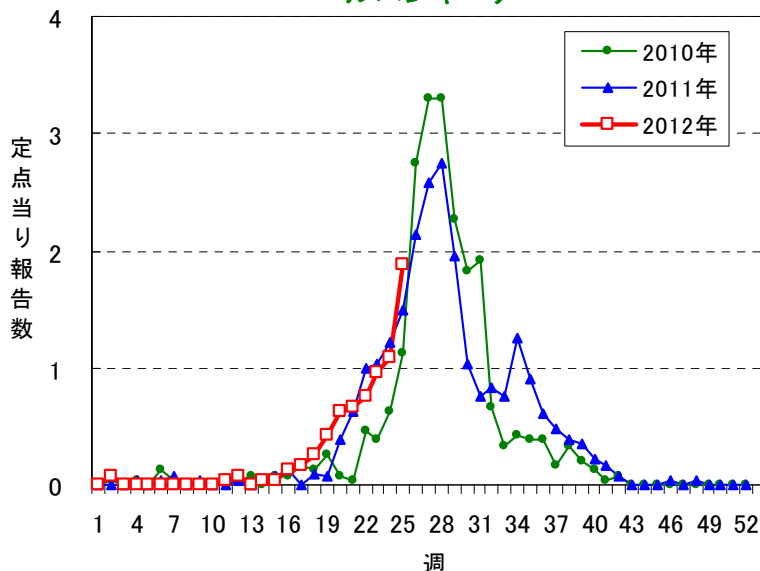
発熱と口の中に水疱ができることが特徴で、乳幼児を中心に、毎年夏季に流行するいわゆる夏かぜの代表的疾患です。回復後症状がなくなっても、長期間にわたって便などにウイルスが排出されるので、排泄物の適切な処理を心がける必要があります。

引き続き手洗いなどの感染予防対策を徹底しましょう。

2. A型肝炎

1件の報告があり、今年の累計は8件となりました(次頁参照)。

ヘルパンギーナ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	1	0.03	0.04		ヘルパンギーナ	45	1.88	1.79	▲
咽頭結膜熱	5	0.21	0.59		流行性耳下腺炎	14	0.58	0.70	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	1.42	1.42	◀	RSウイルス感染症	4	0.17	0.02	
感染性胃腸炎	148	6.17	4.72	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	21	0.88	1.53	▼	流行性角結膜炎	5	0.63	1.38	
手足口病	5	0.21	2.98		細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	2	0.08	0.72		無菌性髄膜炎	-	-	0.08	
突発性発しん	15	0.63	0.67		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.28	
百日咳	6	0.25	0.15		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ◻ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	8	169	男性(10歳代)・1人、女性(30歳代)・2人、男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
4	A型肝炎	1	8	女性(30歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第21週	1	7	39	204	34	1	4	13	6	16	5	1	1	-	-	4	-
		第22週	-	17	55	185	49	5	5	13	8	18	7	4	9	-	-	5	-
		第23週	-	16	39	148	42	-	6	6	6	23	5	3	6	-	-	1	-
		第24週	2	8	49	146	47	-	2	15	1	26	5	3	6	-	-	5	-
		第25週	1	5	34	148	21	5	2	15	6	45	14	4	5	1	-	4	-
定点 当り	広島市	第21週	0.03	0.29	1.63	8.50	1.42	0.04	0.17	0.54	0.25	0.67	0.21	0.04	-	0.13	-	-	0.57
		第22週	-	0.71	2.29	7.71	2.04	0.21	0.21	0.54	0.33	0.75	0.29	0.17	-	1.13	-	-	0.71
		第23週	-	0.67	1.63	6.17	1.75	-	0.25	0.25	0.25	0.96	0.21	0.13	-	0.75	-	-	0.14
		第24週	0.05	0.33	2.04	6.08	1.96	-	0.08	0.63	0.04	1.08	0.21	0.13	-	0.75	-	-	0.71
		第25週	0.03	0.21	1.42	6.17	0.88	0.21	0.08	0.63	0.25	1.88	0.58	0.17	-	0.63	0.14	-	0.57
全国		第23週	0.21	0.52	2.59	8.00	1.49	0.26	0.18	0.67	0.04	0.54	0.47	0.10	0.01	0.62	0.03	0.03	0.88
		第24週	0.17	0.56	2.63	7.37	1.41	0.35	0.17	0.67	0.04	0.88	0.49	0.10	0.01	0.56	0.02	0.03	0.82

■ 新たに判明した病原体検出状況

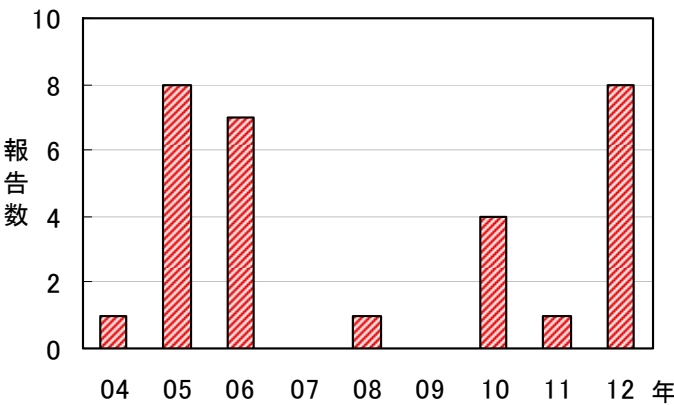
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
急性脳炎	不随意運動	9	男	2012/05/09	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
急性脳症	発熱(40.9) 熱性痙攣	0	男	2012/05/12	鼻汁(拭い液)	ヒトヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.1) 上気道炎 気管支炎	2	男	2012/05/16	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎 肺炎	0	男	2012/05/10	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるA型肝炎の年間報告数の推移

(2012年6月24日現在)



A型肝炎の報告数が、今年はすでに8件となり、これまでの過去最高(2005年)の年間報告数に並びました。

A型肝炎はA型肝炎ウイルスによる疾患で、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)により伝播します。2～6週間の潜伏期間の後、発熱、全身倦怠感、黄疸などの症状を急激に起こします。高齢者では重症化しやすいので、特に注意が必要です。

A型肝炎の予防方法としては、生水や加熱しない食物の摂取を避け、手洗いを励行することが大切です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第25週(6月18日～6月24日)